

2019年度  
文部科学省委託事業

専修学校による  
地域産業中核的人材養成事業

成果報告会

2020年2月21日

## 平成31年度 専修学校関係予算（案）

（平成30年度予算額）

専修学校教育の人材養成機能の向上 25.5 億円（27.3億円）

① 専修学校による地域産業中核的人材養成事業 12.7 億円

分野に対応した中・長期的な人材育成に向けた協議体等の構築等を進めるとともに、これら  
の時代に対応した教育プログラム等の開発や効果的な産学連携教育の実施プログラムの  
開発等の取組を進める。

- 産学連携体制の整備
- 教育プログラムの開発
  - ・Society 5.0等対応カリキュラムの開発・実施
  - ・学びのセーフティネット機能の充実強化
- 産学連携手法（専修学校がデュアル教育）の開発

② 専修学校リカレント教育機推進プロジェクト（新規） 3.1 億円

人生100年時代に対応し、多様なリカレント教育機会の充実を図るため、専修学校は  
リカレント教育機能の強化に向けて分野を越えたリカレント教育プログラムの開発  
や、オンラインを活用した遠隔での開講手法の実施、リカレント教育の実施運営体制の構築  
等を積極的に進める。

③ 専修学校グローバル化対応推進支援事業 2.0 億円

諸外国に対する日本の専修学校の認知・啓蒙を図り、外国人留學生の増加起し、日本語教育  
支援・留学支援、留學生の在籍管理、卒業後の国内への定着支援など、各地域における  
関係機関・団体との連携によるモデル体制の構築を進める。

④ 国境外国人留學生制度 7.6 億円

専修学校教育の質保証・向上 2.1 億円（1.4億円）

① 職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進 1.6 億円

専修学校における研修プログラムの開発や研修体制づくり等による教育体制の充実を図る  
とともに、先進国モデルの制度等による職業実践専門課程の充実（科目・単位の取組や教学メ  
ソッドの強化の推進等）を進め、職業教育の充実及び専修学校の質保証・向上を図る。

② 専修学校と地域の連携深化による職業教育魅力発信力強化事業 0.5 億円

専修学校が地域職業教育の魅力発信力を強化するため、効果的な情報発信の在り方  
や、視察・視学などを通じて、関係機関と連携し、専修学校の職業教育機能を生かした  
地域での学習機会を確保した際の効果、連携に当たっての留意点を整理する。

学びのセーフティネットの保障 9.0 億円（9.1億円）

① 専門学校生への経済的支援の充実に向けた取組 1.7 億円

・専門学校生への効果的な経済的支援の在り方に関する実証研究事業  
意識と能力の向上が専門学生に経済的理由により、進学を断念することから、経済  
的支援及び修学支援プログラムによる修学支援を行い、進学断念率に関するデー  
タを継続的に収集し、分野・施設を行い、その効果等について普及することにより専門学  
校の取組の充実を図る。

・高等教育費負担軽減実施体制整備費補助金（新規） 2.8 億円  
職業教育費の負担軽減の実施に向けて、私立専門学校に関する事務処理等を関係機  
関と連携し、適切に行えるようにするための体制整備に係る取組

② 私立学校施設整備費補助金 3.0 億円

【補助対象】 教育施設、学舎施設等の機能向上策、アスベスト対策 等

③ 私立大学等研究設備整備費等補助金 2.3 億円

【補助対象】 情報処理関係設備の整備

合 計 37.5 億円（36.3億円）

## 専修学校による地域産業中核的人材養成事業

2019年度予算額（案） 1,274百万円  
（前年度予算額） 1,740百万円



文部科学省

### 背景・課題

- 教育サイドが産業界のニーズを踏まえたサービスを提供する仕組みの構築が必要
- AIの発達やインターネットの爆発的普及・活用等に対応した教育内容の充実が必要
- 教育機関と地方公共団体や企業等とが連携した取組を強化し、地域産業を担う人材養成など、地方課題の解決に貢献する取組の促進が必要

### 未来投資戦略2017（平成29年6月9日閣議決定）

産業界のニーズを継続的に把握しつつ、産業界の代表との実務レベルでの情報共有等を行うことを目的とした大学関係者による大学協議体の本年度早々の創設と産学協働による教育プログラムの構築・実施、**専修学校による地域産業中核的人材養成事業等による産学連携の取組を進めるとともに**、これらの取組を横断的に機能させるために、産業界と教育界による「官民コンソーシアム」について検討し、本年度中を目途に設立し取組を開始する。

### 事業概要

専修学校等に委託を行い、各職業分野において今後必要となる新たな教育モデルを形成するとともに、各地域から人的・物的協力などを得ることでカリキュラムの実効性、事業の効率性を高めつつ、各地域特性に応じた職業人材養成モデルを形成する。

#### ①：産学連携体制の整備

産官学が「人材育成協議会」を構築することで、各分野・各地域における中長期的な人材育成の在り方を協議し、今後必要となる人材像や能力・技術等を整理、効果的な教育手法を検討する体制を確立する。（全国版：5箇所 地域版：18箇所 連絡協議会：1箇所）

#### ②：産学連携手法の開発

学習と実践を組み合わせる効果的な教育手法を開発し、学校・産業界双方のガイドラインとして作成・共有化を図る。（分野別：8箇所 分野横断：1箇所）

#### ③：教育プログラム等の開発

Society 5.0等の時代に求められる能力（例：「IT力」を融合した専門的能力等）について分野毎に体系的に整理し、その養成に向けたモデルカリキュラムを開発する。（30箇所）

地方創生に向けて、各地域課題の解決や発展に向けた将来構想を策定し、当該構想の実現に今後必要となる人材に必要な能力の養成に向けたモデルカリキュラムを開発する。（30箇所）

学びのセーフティネット機能強化に向けて、高等専修学校と地域・外部機関等との連携を通じた実効的な教育体制（「チーム高等専修学校」）を構築する。（モデル：5箇所 調査研究：1箇所）

### 目指す成果

#### 人材養成モデルの形成

- 産学連携体制整備ガイドライン
- 各分野毎の将来人材像、能力の整理
- 産学連携（デュアル教育）ガイドライン
- 各種教育モデルカリキュラム等

#### 人材養成モデルの活用

開発したガイドラインやモデルカリキュラム等を活用し、全国の専修学校が自らの教育カリキュラムを改編・充実

専修学校と産業界、行政機関等との連携を進展させ、諸課題に対応した教育内容の充実を図ることで、地域の中核的な職業教育機関である専修学校の人材養成機能を向上

※ プログラムの撤去・再設置に係る経費は、平成30年度補正予算において措置されている。

※ 上記のほか、高等学校等進学支援金、日本学生支援機構の奨学金事業等の中に専修学校を対象とした予算が含まれている。

※ 国土強靱化対応における重要インフラ整備に関する経費については、専修学校も対象となっている。

※ 計数もそれぞれ四捨五入しているため、合計と一致しない。

事業検討の体制

2019年度 多摩地域建設人材育成協議会 設立準備委員会

●多摩地域建設人材育成協議会  
設立準備委員会

●2019年度は、当初予定の3年目 = 最終年予定

まちづくり検討  
分科会

建設産業人材  
育成  
分科会

協議会設立  
準備委員会  
における  
検討

トライ  
&エラー  
を  
はじめる

- 合同企業説明会
- 現場見学・現場体験（スポット）
- 技術・技能の伝承（講師の派遣）
- インターンシップ
- 先端技術（施工 BIM、ドローンなど）の学修（スポット）
- 「学び直し」（短・中期）

【バーチャル  
八王子構想】

実行(実証)準備を中心に

兄弟事業  
に  
引きつぐ

多摩地域  
建設人材育成  
協議会設立  
準備委員会から  
切りはなす

持続可能性の  
確立に向けて

企画・立案して  
実行(実証)  
する

産学連携して  
人材育成と就職の  
マッチング機会を生む

多摩地域 Society5.0 等対応  
IT 教育プログラム開発事業

●継続を目的とした  
やわらかい、負担の少ない  
体制づくり = まずは続ける

課題等の整理

●八王子 BIM ラボ（2回/月程度）の実施

●留学生の支援のしくみづくり

AI システム  
分科会

ロボティクス  
分科会

地域企業

「研究会」  
として  
スタート

多摩地域  
建設人材育成  
協議会の  
設立へ

支援

専門学校

就職

日本語学校

「バーチャル八王子  
構想」の中で  
社会実装する  
(実証する)

## 日本工学院八王子専門学校

<プレスリリース>

2019年7月26日

### 多摩地区建設業の本拠地発展へ 就業体験など実践的な教育プログラムや学び直しでの協力も 三多摩建設業連合会と連携協定締結

日本工学院八王子専門学校（東京都八王子市、校長 前野一夫）は、東京多摩地区の建設業109社が加盟する三多摩建設業連合会（東京都小金井市、会長 土方康志）と、「建設分野の発展と人材確保・育成等に関する連携協定」を、7月25日に締結いたしました。同連合会が学校法人と連携協定を締結するのは、今回が初となります。

本校は、テクノロジーカレッジ建築学科（4年制）、同建築設計科（2年制）および同土木・造園科（2年制）を設置しており、同連合会とはこれまで建設現場の見学会や、キャリアデザインの講師派遣、合同企業説明会などで連携してまいりました。また2012年より、本校が代表幹事を務める、文部科学省「社会基盤分野」委員会に同会員企業と参画し、建設業の現状や次世代の教育に必要なカリキュラムや人材育成について、提案や協議を重ねてまいりました。

今回の連携協定ではこれらの実績をふまえ、産学連携によるコーオプ教育(注1)の実施に向けたインターンシップの受け入れ協力(拡大)、地域・社会貢献活動での協力、授業や実習への企業人講師の派遣、加盟企業の社員研修や学び直し等への協力など、幅広い連携を推進してまいります。また、他のカレッジ(学科)も含めた協力も進めてまいります。これらを通じ、より実践的なカリキュラムによる人材育成や地域の建設産業界の発展に貢献してまいります。

#### 連携協定 調印式

三多摩建設業連合会 日本工学院八王子専門学校



7月25日に行われた調印式

(三多摩建設業連合会 土方康志会長、日本工学院八王子専門学校 前野一夫校長)

(三多摩建設業連合会 土方康志会長、日本工学院八王子専門学校 前野一夫校長)

#### 【連携内容】

- 1.教育支援（現場見学会、コーオプ教育、インターンシップ等）の受け入れ協力
- 2.授業、実習、特別講義（キャリアデザイン含む）等への企業人（講師）派遣
- 3.企業研究の場、企業説明会（合同含む）の開催
- 4.社員研修、学び直し等へ会場提供や教員（講師）の派遣
- 5.建設業界の魅力拡大、地域貢献、社会貢献等についての交流、協力
- 6.定期的な勉強会・情報交換の場として、協議機関の設置をめざす
- 7.その他、双方が協議し同意した事項

#### 〇 三多摩建設業連合会

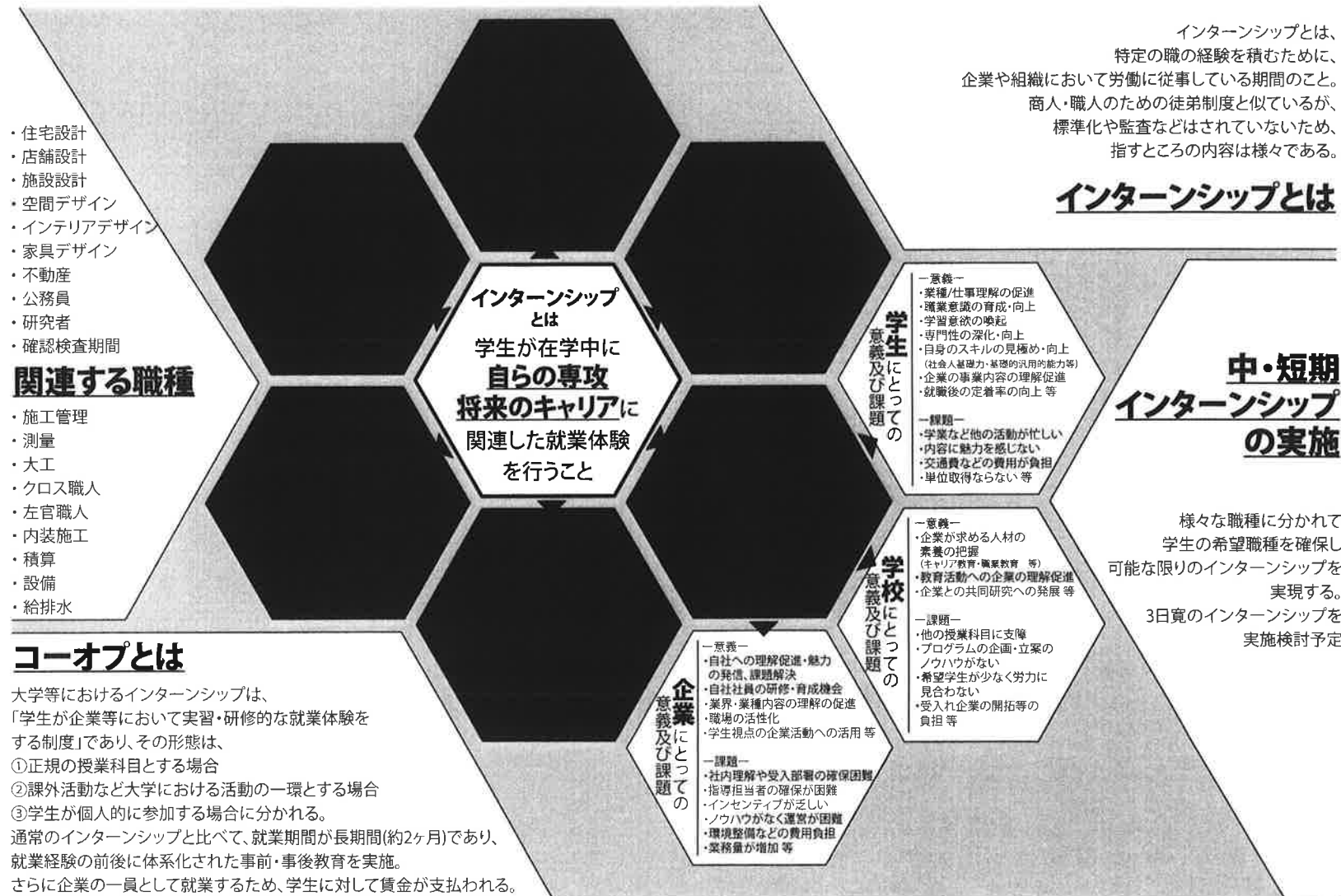
（一社）北多摩建設業協会、（一社）南多摩建設業協会、西多摩建設業協同組合の三つの中小建設業団体による連合会で、東京都の区部と島嶼部を除く26市3町1村（多摩地区）に109社の会員企業が加盟しています（2019年6月現在）。1963年の創立以来、中小建設業者の振興を目的として、東京都などの公共事業発注者へ陳情活動等を行う他、連合会の各団体は東京都と「災害時における応急対策業務に関する協定」を締結し、「都民の生活を守る建設業」を実践しています。

#### 〇 日本工学院八王子専門学校

1947年に日本工学院の前身である「創美学園」を創立した片柳学園が、創立40周年を迎えた1987年に八王子市に開校。テクノロジー、クリエイターズ、デザイン、ミュージック、IT、医療・保育、スポーツの7カレッジに約5,600名の学生が在籍、これまでに60,000名以上の卒業生を輩出しています。

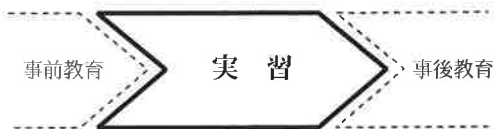
協議会の基本コンセプト・活動テーマ		人材像の追求	協議会の活動内容・活動要領・組織構成			
基本コンセプト			活動要領	組織構成		
●地学地就	～ 地域で学び、地域で働く	●地域に根づく人材	●会合 ～4回/年程度 ～日本工学院八王子専門学校にて	全体会 (産官学連携)		
●産官学連携	～ 各セクターの特性を運動させて創発する	●自ら自主的に働く環境づくりに参画できる人材	●活動実施 ～各部会で企画・立案調整し実行する	マッチング部会	学び直し部会	自主活動部会
●地域重視	～ 多摩地域の「強み」を発見、創出し活かしたおす	●建設分野に生きがい、働きがいを感じる人材	●基本スタンス ～小さな成果を積み重ねて大きな達成を生む			
活動テーマ			活動内容			
●ひとづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の実践学習（インターンシップ、コーオペ教育など）</li> <li>・現在働いている人材の総合能力の向上</li> <li>・他分野の社会人、女性の参入促進</li> </ul>	<p><b>「多摩建設人材育成協議会」を</b> 日本工学院八王子専門学校が母体となり、研究会のような形でスタートする (2020年2月予定)</p> <p>トレンドの把握と中長期的視点の導入</p>	●マッチング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人手不足の解消（合同企業説明会、留学生支援など）</li> <li>・学生の実践学習（インターンシップ、コーオペ教育など）の場の提供</li> <li>・地域人材データベース（ポートフォリオ）の構築、活用</li> </ul>		
●学びの深化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先端技術（建設ICT [BIM、ドローンなど]）の学習</li> <li>・地域の「守り手」の育成</li> <li>・トレンドの把握（国がめざす Society5.0 による地域社会づくりなど）</li> </ul>		●小中高生の建設分野への動機づけ	●学び直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働生産性の向上につながる建設ICT（BIM、ドローンなど）の学習（e-ラーニングの活用）</li> <li>・「多摩建設ICTゼミ」の開催</li> <li>・建設関連のビジネス総合スキルの向上</li> </ul>	
●交流と発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題（リノベーション、古民家・空家活用、防災、技術継承など）の発見と解決策の検討</li> <li>・地域の「強み」の発見と創出</li> <li>・地域に根ざしたコミュニティ形成（プラットフォーム形成）から就職、起業へつなげる</li> </ul>	●社会人の転職、女性の職場復帰等のバックアップ	●自主活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設分野の魅力づくり（子供たちと遊び・学ぶ）</li> <li>・労働環境の改善（テレワークなど）</li> <li>・地域への愛着を育む</li> </ul>		
		●留学生（外国人）への学費・生活費支援				

内容		作業の実施						とりまとめ			
		2019年7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		
多摩地域建設産業人材育成協議会における事業内容 人材育成協議会における事業内容 検討・実証 成果物 スケジュール	<b>建設系人材育成先進地（国内）視察</b> 1.建設 ICT(BIM 等)を使った産学連携事例調査 2.建設 ICT(BIM 等)を活用した人材育成の調査 3.地域での守り手育成と独自の人材育成を調査 4.ICT 技術を活用した先進的なまちづくりの調査		●		●	●			各項目どうしの関連性を明確にした上で ・成果の内容 ・成果の評価 ・次年度に向けての課題	「多摩地域建設産業人材育成協議会」設立  2020年度の運営体制の発表 ● 成果報告会	
	1.多摩地域建設産業人材育成協議会のしくみ等の開発 人材育成協議会の体制、目的、実施要領等を検討し、勉強会等からスタートさせるなどのしくみ等を開発する	検討 内容、目的等 委員会	報告 関係機関、関係者	開発 委員会	報告 委員会	開発 関係者等	報告 委員会	開発 HP等	報告 委員会 まとめ		をとりまとめる
	2.インターンシップのしくみおよび内容の実証 地域企業等との協力体制の構築、実施要領を検討した上で実証する	検討 内容 経緯等	開発	実証① 企業研修を利用し卒業生のインターンシップを実施	検証① 企業からのフィードバック等に関するヒアリング	案の策定 人材育成協議会で実施案を策定して決定	検証② 企業研修アンケートを実施	案の確定 人材育成協議会で実施案を確定	次年度の検討 参加企業等の検討		
	3.e ラーニング等を活用した「学び直し」実証講座 女性の職場復帰、社会人のキャリアアップなどを目的とした建設 ICT 技術の「学び直し」を実証する	検討 内容、目的等		開発		実証講座①	検証①		まとめ		
	4.e ラーニング等を活用した「資格対策」実証講座 建設産業の職場に必須な資格をとるための講座を、スマホなどを活用して実証する	検討 内容、目的等		開発		実証講座①	検証①		まとめ		
	5.産官学連携による建設に関わる最新技術等の勉強会の実証 建設 ICT 等の最新技術動向を共有し、地域での学修・活用のネットワークをひろげるためのしくみの実証	検討 内容、目的等	開発 実践事例集	実証① ①	検証① 準備実証②に向けて	実証② 勉強会	検証② 準備実証③に向けて	実証③ 勉強会	検証③ まとめ		
	6.人材育成協議会が提言するまちづくりの実証 現実の「まちづくり」への提言を通して、社会人、学生等の学修機会を創出するための実証	検討 内容 経緯等	開発 実践事例集	実証① ① 実践事例集	検証① ① 実践事例集		実証② ② 実践事例集				
	1.広報用カラーパンフレット 2.事業成果報告書					随時編集・まとめ作業			校正		完成 郵送
	2.事業成果報告書					随時編集・まとめ作業			校正		
	多摩地域建設産業人材育成協議会設立のための準備委員会 実証講座 視察・ヒアリング	2018年7月	8月		●		●		●		2019年1月

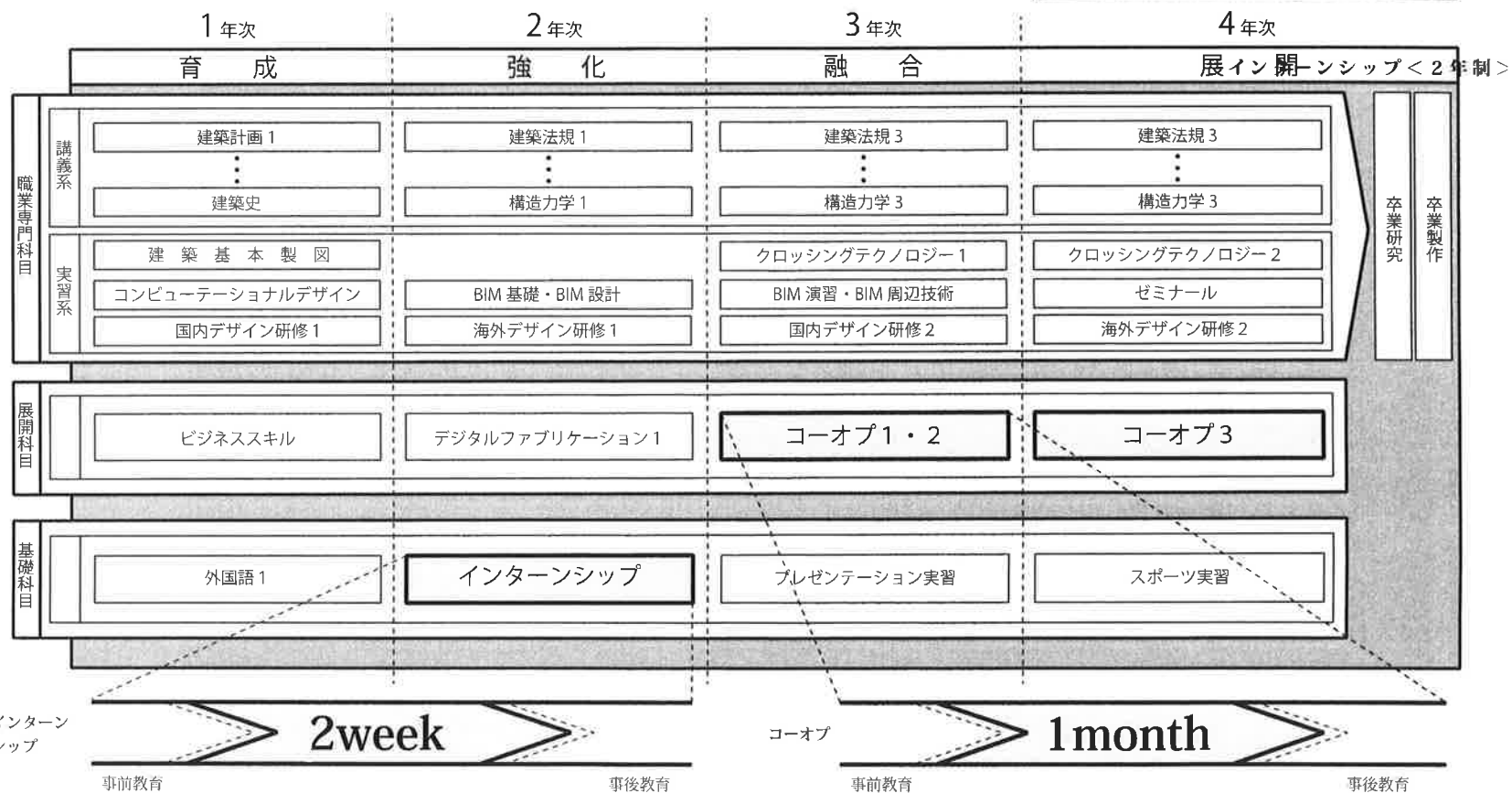


### 段階的に発展するカリキュラムを通して、実践力や専門力を最大限習得できるタイミング

コーオプ教育やインターンシップ教育における就業効果を最大限に高めるため、事前・事後教育を科目に組み込みます。学生は就業の前にグループ学修を通して協働作業の重要性や自己能力の分析、就業目標の設定、就業マナーなどを身につけてから就業します。またコーオプ教育やインターンシップ教育の実習後には、就業経験の振り返り、気づきや職場でのニーズ、改善業務について討論を行い、その後の専門教育の学修につなげていきます。



**基礎科目**：生涯にわたり自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成するための授業科目  
**職業専門科目**：専攻に係る特定の職業において必要とされる理論的かつ実践的な能力及び当該職業の分野全般にわたり必要な能力を育成するための授業科目  
**展開科目**／専攻に係る特定の職業の分野に関連する分野における応用的な能力であって、当該職業の分野において創造的な役割を果たすために必要なものを育成するための授業科目  
**総合科目**／修得した知識及び技能等を総合し、専門性が求められる職業を担うための実践的かつ応用的能力を総合的に向上させるための授業科目





### インターンシッププログラムの概要

・実習内容	企業が業務中に行う以下の業務の一部を補助する内容とする。 1、建設現場における施工管理業務 2、現場定例会議での確認業務 3、現場管理に関わる文書作成、書類管理等の業務 4、協力業者等への連絡・伝達に関わる業務 等
・実習期間	2019年10月～2020年1月のうち3日間 ※週1日、インターンシップ可能な授業を設定 ※就業時間は9:00～17:00とする
・参加人数	1～2名程度/企業
・対象学生	日本工学院八王子専門学校に在籍する以下の学生とする。 建築設計科 1年次 ※建設業または関連職種に就職する意欲のある学生 ※本校のインターンシップ保険の加入者
・待遇等	給与等の報酬はなしとする。 交通費はなしとする。 ※ただし、実習が遠方等となる場合は、協議のうえ決定する。 実習等で使用する材料、機材等は企業負担とする
・受け入れ企業条件	本校の教育理念にご理解をいただける企業

### インターンシッププログラムの実施例

職種	1日目	1Week 課題	2日目	1Week 課題	3日目	課題
施工管理	●入職式 安全管理について 現場管理について ↓ 1日の振り返り	現場見学レポート	作業報告書作成 現場管理ボード 写真撮影など ↓ 1日の振り返り	作業報告書作成	職人への指示出し 工程表のチェック 現場進捗の管理 ●修了式	修了レポート提出
建築設計	●入職式 建築設計について 工事中現場見学 施主打合わせ同行	施主打合わせ同行レポート	提案資料作成 議事録作成 次回打合わせに向けての打合せ	素材提案資料作成	提案資料作成 素材決め作業 提案ボード作成 ●修了式	修了レポート提出
BIM	●入職式 作成するモデルの現場見学・確認 ↓ モデル作成	モデル作成	モデル作成 施主打合せに同行 ↓ 議事録作成	モデル作成	モデル作成 協力企業と打合せ ●修了式	修了レポート提出
職人(大工)	●入職式 現場における注意点 現場入場 ↓ 現場清掃等	作業レポート作成	大工作業 荷下ろし、清掃等 資材運搬 ↓ 現場養生等	作業レポート作成	大工作業補助 資材運搬等 ●修了式	修了レポート提出
不動産	●入職式 不動産業について 物件案内に同行 ↓ 本日の振り返り	同行レポート作成	物件案内に同行 物件資料作成 ↓ 大家さん巡回	同行レポート作成	物件案内に同行 重要事項説明作成 ●修了式	修了レポート提出

2019年8月吉日

## 参加者 募集

### 2019年度 文部科学省 委託事業 実証講座

「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」

多摩地域における建設産業中核的人材養成のための産学連携体制構築事業

学校法人 片柳学園 日本工学院八王子専門学校

## マンションリフォームマネジャー 試験対策講座

### 参加者募集のご案内

( 受講料 無料 )

日本工学院八王子専門学校は平成24年度より文部科学省の委託事業として、社会基盤分野で次世代を担う中核的人材を育成するカリキュラム開発をすすめ、8年目を迎えました。これまでに開発した社会基盤のカリキュラム等に基づき、建築を学ぶ学生の方、多摩地域の建設会社などに就職を希望する方、これから中堅社員になることを目指す方、建設関連の教員を対象として、建設技術に関わるステップアップ講座を文部科学省委託事業の実証講座として開講しています。

「マンションリフォームマネジャー試験」とは、平成4年度に創設され、試験合格者は、延べ10,619人（平成4年度研修修了者を含む）です。平成29年末には分譲マンションストック戸数の推計値は640万戸を越え、建築費相当の年を経たマンションも急増し、マンション専有部分のリフォームが重要な業務領域としてクローズアップされています。マンションリフォームにおいては、区分所有やマンション管理、共同住宅ならではの建築構造、設備等、その特殊性をふまえた適切な計画や施工が不可欠です。依頼者の要望を実現し、付加価値の高いリフォームを行うために、これらをマネジメントするマンションリフォームのスペシャリストが求められています。

これから需要の増まりが期待されている資格を取得し、今後のお仕事に活かされてはいかがでしょうか。下記要領で開催しますので、ご参加を希望する方は要領申込書にご記入のうえ、FAXにてお申込み下さい。

— 記 —

1. 主催者 2019年度 文部科学省委託事業  
代表機関：学校法人 片柳学園 日本工学院八王子専門学校

2. 期 間 2019年9月 7日(土) 10:00 ~ 17:00  
2019年9月14日(土) 10:00 ~ 17:00  
2019年9月21日(土) 10:00 ~ 17:00  
※上記3日間すべての受講が必須となります。

3. 講座内容 下記日程により開催予定 (内容を一部変更する場合があります)  
各日受付開始 9:30

開催日	講座内容 (7時間を予定)
2019年9月7日(土) 10:00 ~ 17:00	・学科試験対策 マンションリフォームの基礎知識 等
2019年9月14日(土) 10:00 ~ 17:00	・学科試験対策 設備のリフォーム 等 ・製図試験対策 図面の描き方、質問問題 等

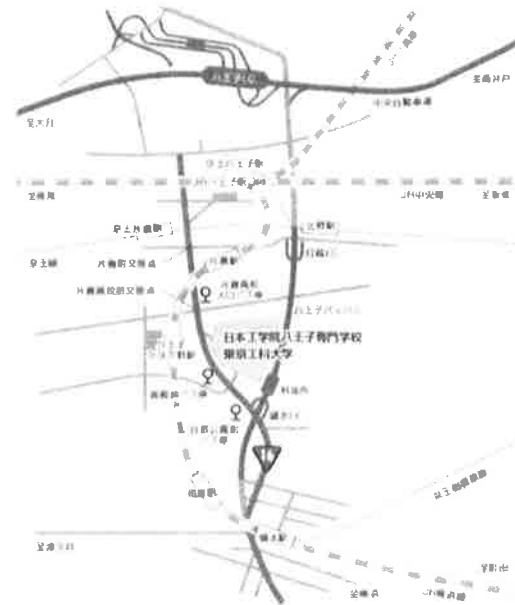
2019年9月21日(土) 10:00 ~ 17:00	・製図試験対策 演習問題 等
--------------------------------	-------------------

4. 受講料 受講料 無 料/教材費 5,000円(税込) 交通費は自己負担となります。
5. 定 員 20名 (定員を超えた場合は抽選となります)
6. 申込方法 申込書に必要事項を記入し、MAILまたはFAXにてお申込み下さい。
7. 協力企業 一般社団法人 マンションリフォーム推進協議会
8. 集合場所 学校法人片柳学園 日本工学院八王子専門学校 講義棟 B-301

住所 東京都八王子市片倉町1-4-04-1  
交通 JR中央線 八王子駅南口より 本校スクールバス  
JR横浜線 八王子みなみ野駅より 本校スクールバス  
八王子キャンパス案内図は本校HP参照 → <http://www.nhac.ac.jp/access/fac.html>

9. 持ち物 筆記用具・ノート等 (製図対策講座時の持ち物は1日目にご案内します)

日本工学院八王子専門学校 案内図



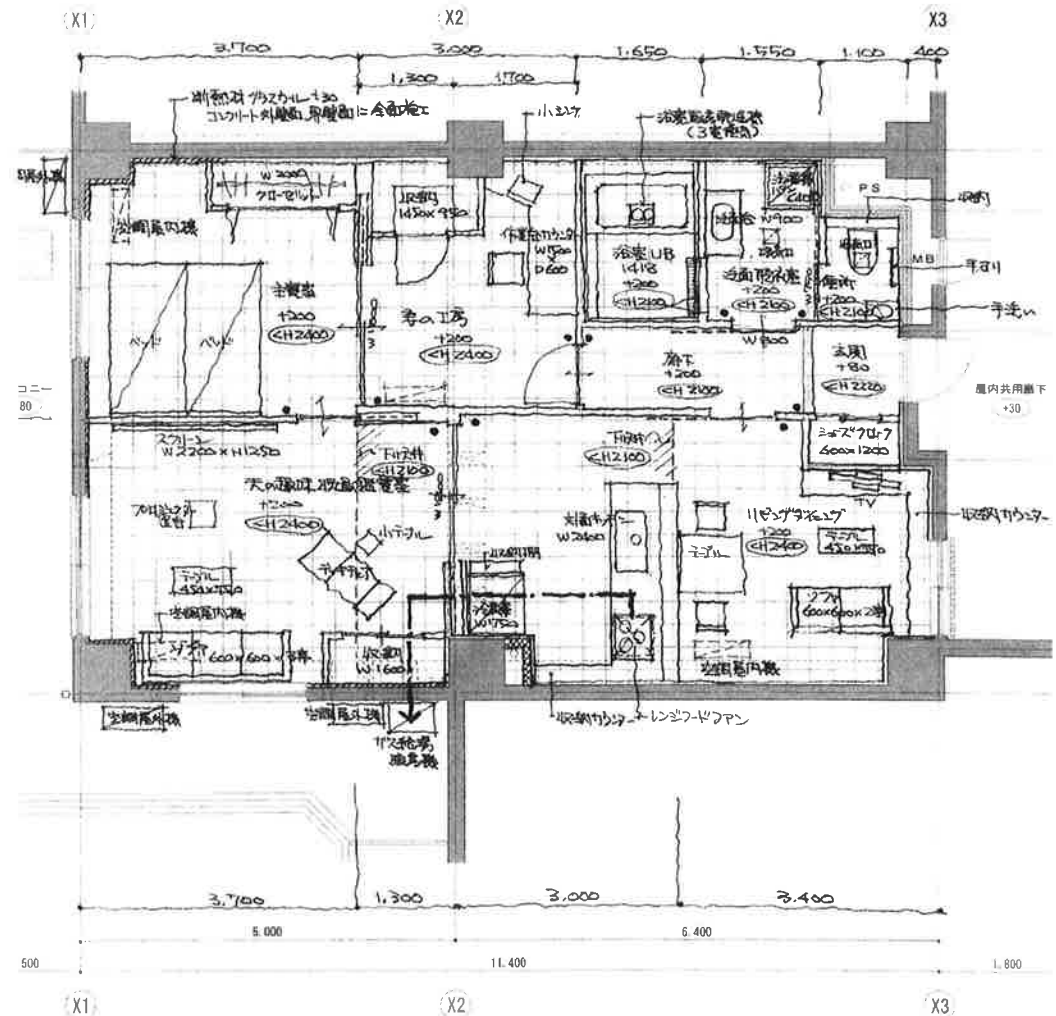
1. 日本において集合住宅が本格的に普及するのは第二次世界大戦後のことであり、住宅難を解消する方策の一つとして1955年に日本住宅公団が設立された。
2. 1960年代前半までの高度経済成長期におけるマンションの特徴は、都心に立地していること、住戸の付帯設備が充実していることがあげられる。
3. 1970年代にはいり第3次マンションブームを迎えたが、戸数密度を高めた中廊下型の高層マンションが供給の中心となった。
4. 1980年代後半の第5次マンションブームでは、買い替えや資産運用が需要の中心になった。

問題2 マンションの普及の歴史に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 1983年の区分所有法の改正では、区分所有建物の専有部分と敷地利用権の一体性の原則が採用された。
2. 1995年の阪神・淡路大震災を契機として、大規模な震災で滅失した区分所有建物の再建を容易にするためのマンション管理適正化法が制定された。
3. 建築後相当年数を経たマンションが急速に増加していくことが見込まれることから、「マンションの建替等の円滑化等に関する法律」が2001年に制定された。
4. マンションをとりまく情勢の変化を受けて、国土交通省は2004年に「マンション標準管理規約」を公表した。

問題3 特色ある集合住宅に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 晴海高層アパートでは、イスとテーブルを用いる洋風の生活様式を意図して、板張りの食事室が計画された。
2. 公営住宅標準設計51C型は、寝室に食事等の機能が入り込まないようにする食寝分離の理念で計画され、ダイニングキッチンが導入された。
3. 天王洲ビュータワーでは、階高を十分にとることで天井高にゆとりのあるリビングや床下収納などを設けた。
4. 実験集合住宅NEXT21では、コーポラティブ方式を採用して多様なライフスタイルに対応できるように設計された。



■2019年度 文部科学省委託事業 専修学校による地域産業中核的人材育成事業 実証講座 マンションリフォームマネジャー資格対策講座

● 回答して下さる方の基本情報1

・ 氏名 \_\_\_\_\_  
 ・ 資格 建築士・施工管理技士・インテリアコーディネーター・その他 ( \_\_\_\_\_ )  
 ・ 年齢 \_\_\_\_\_ 歳 / 男・女

\*留意事項・ アンケートは講座開始直前と講座終了直後に実施します。

● 実施前アンケート

		そう思う	やや	どちらとも	やや	そうは	小計
		そう思う	思わない	思わない	思わない	思わない	
		+ 3	+ 1	0	- 1	- 3	
1	マンションリフォーム市場について理解している。	0	1	0	-3	-21	-23
2	「マンション」のことばの定義を理解している。	0	0	0	-6	-9	-15
3	区分所有法を理解している。	0	0	0	-3	-24	-27
4	専有部分と共有部分を理解している。	3	4	0	-2	-6	-1
5	床衝撃音における軽量床衝撃音と重量衝撃音の違いを理解している。	0	0	0	-1	-30	-31
6	SI住宅とは何かを理解している。	0	1	0	-2	-15	-16
7	マンションの床の作り方を理解している。	0	0	0	-2	-27	-29
8	マンションの外壁・界壁を理解している。	0	0	0	-4	-21	-25
9	給排水設備の排水勾配を理解している。	0	2	0	-3	-18	-19
10	給排水設備のトラップを理解している。	3	1	0	-2	-18	-20
合計							-206

● 回答して下さる方の基本情報2

・ 会社名/離職中/就職活動中/学校名 \_\_\_\_\_  
 ・ 勤続年数(学年) \_\_\_\_\_  
 ・ 職種(就職する職種) \_\_\_\_\_

● 実施前アンケート

		そう思う	やや	どちらとも	やや	そうは	小計
		そう思う	思わない	思わない	思わない	思わない	
		+ 3	+ 1	0	- 1	- 3	
1	マンションリフォーム市場について理解している。	6	8	0	0	0	14
2	「マンション」のことばの定義を理解している。	21	5	0	0	0	26
3	区分所有法を理解している。	18	5	0	0	0	23
4	専有部分と共有部分を理解している。	18	6	0	0	0	24
5	床衝撃音における軽量床衝撃音と重量衝撃音の違いを理解している。	27	3	0	0	0	30
6	SI住宅とは何かを理解している。	24	3	0	0	0	27
7	マンションの床の作り方を理解している。	21	5	0	0	0	26
8	マンションの外壁・界壁を理解している。	21	3	0	0	0	24
9	給排水設備の排水勾配を理解している。	18	6	0	0	0	24
10	給排水設備のトラップを理解している。	21	5	0	0	0	26
合計							244

自由回答欄 受講後の感想を自由にお書きください

- ・ 授業では教わらなかった詳しい部分を知れた。
- ・ わかりやすかったです。
- ・ どういう資格でどういった傾向の試験か理解できた。



文部科学省委託事業

スキルアップ  
キャリアアップ  
求職者・学び直し向け

2日受講コース  
1/31 金 10:00~17:00  
&  
2/7 金 10:00~17:00

初心者 大歓迎 受講料 無料

女性のための  
キャリアアップ講座  
建築CAD&建築模型

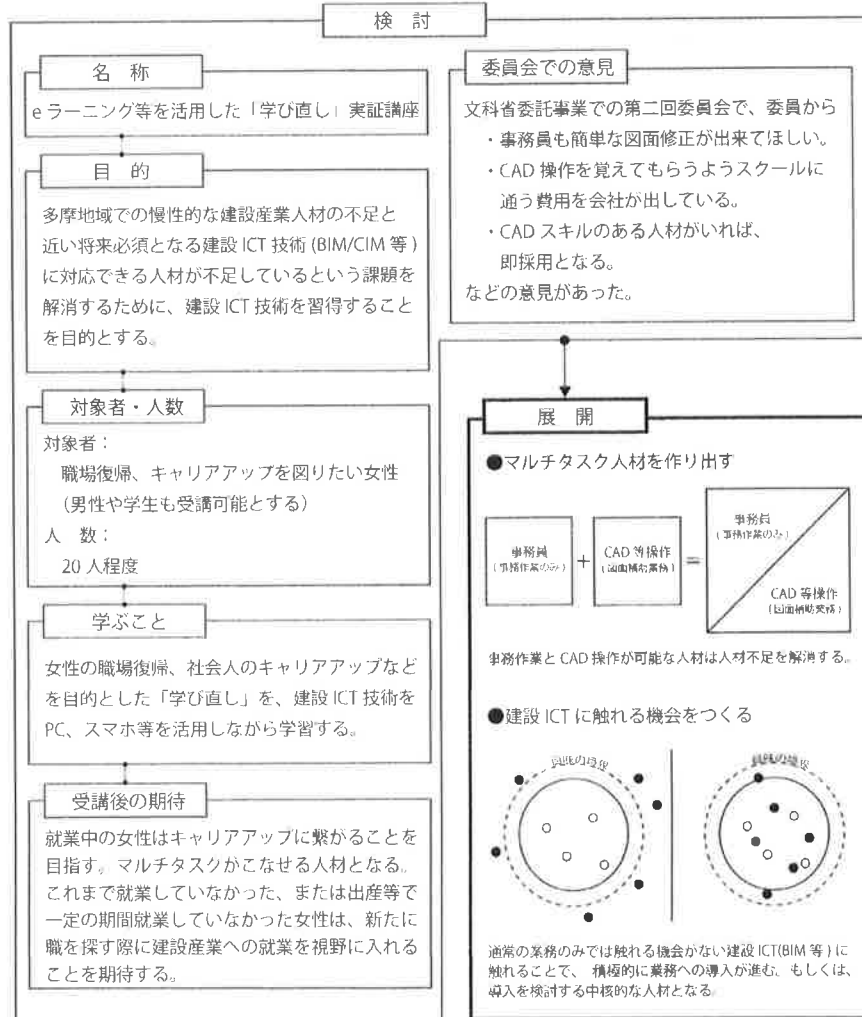
受講対象 建設会社や建築関連企業等で事務業務などを行う方。また、スキルアップやキャリアアップ、学び直しを考えている方。男性もご参加可能です。

定員 20人(先着順)

会場 日本工学院八王子専門学校 実習室 (JR八王子駅。JR八王子みなみ野駅よりスクールバスあり)  
1日目: C&Tセンター37教室  
2日目: 建築系実習室

講座内容  
1日目: CADとは、基本操作  
2日目: 模型製作(平屋建住宅)  
受講料・教材費: 無料(交通費は各自負担)  
昼食はご持参ください。

主催: 学校法人片桐学園 日本工学院八王子専門学校  
〒182-0281 東京都八王子市片倉町1404-1 事務局 小林  
TEL: 042-637-3129 MAIL: kobayashi@jikei.ac.jp



実証講座概要

●実証講座名:  
**女性のためのキャリアアップ講座**

●対象者: 多摩地域の女性(男性でも可)

●目的: 「人生100年時代」や「働き方改革」などライフマネジメントが重要な時代となってきている。キャリアアップをするためには1つのスキルより、複数のスキルを持ち、いくつかの業務をこなせる人材となることである。そこで、これからの時代を生きる女性に建設ICT技術(BIM/CAD)の技術を習得してもらい、キャリアアップを図る講座を開設する。

●講座内容: 汎用的なCADソフトの操作方法を習得した後、簡単な模型製作をおこなう。

●講師: 日本工学院八王子専門学校 教員 および日本工学院八王子専門学校 在校生

●スケジュール: 講座は10:00~17:00、土曜日の2日間セット  
1日目 CAD(VECTORWORKS)の操作方法  
2日目 模型製作

●講座料・教材費: 無料(交通費は各自負担)

●会場: 日本工学院八王子専門学校 C&T37 および実習室

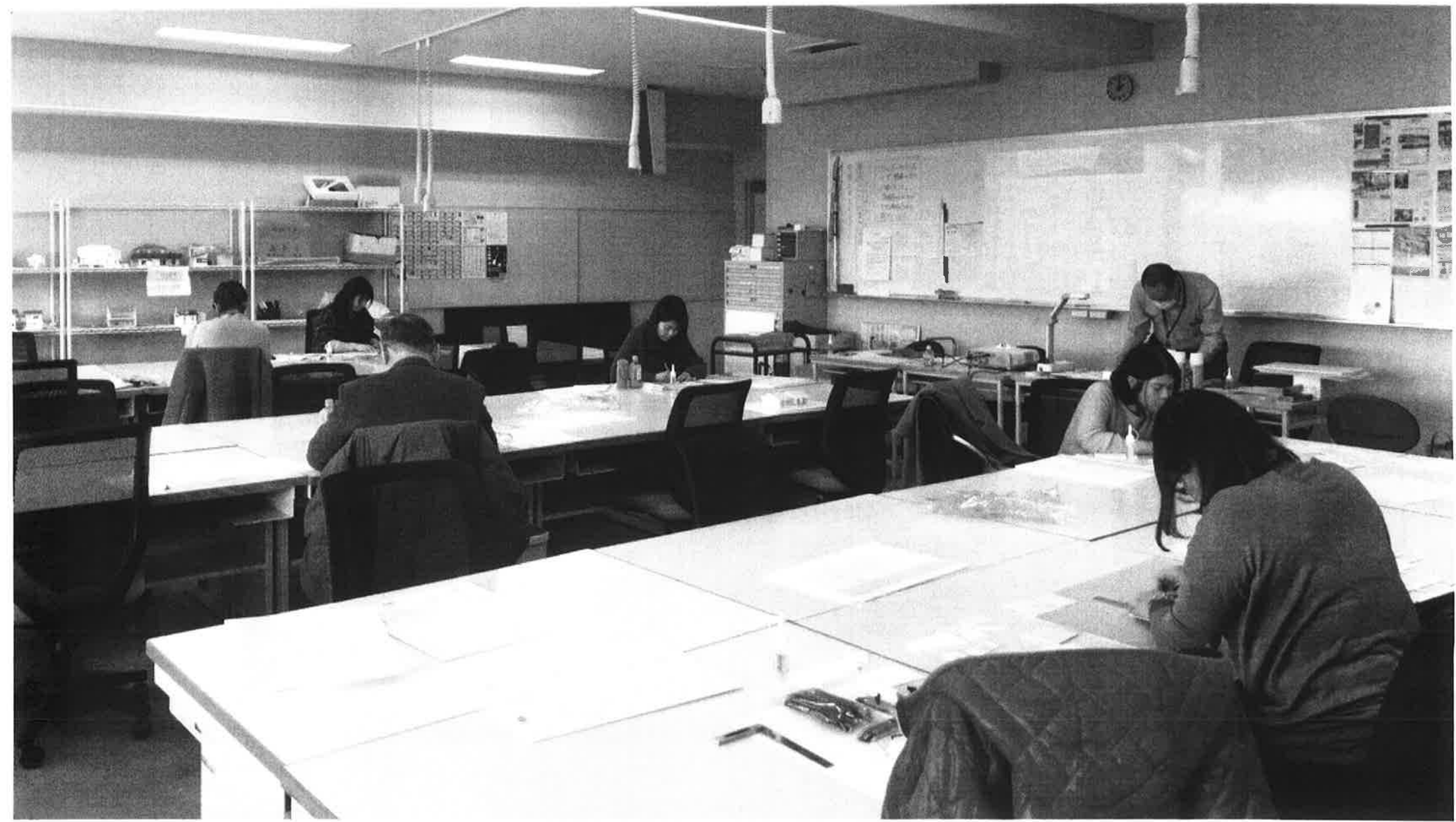
●日程候補: 平日で検討(会社員は勤務時間内で研修したい)

○注意事項:  
□昼食代は各自負担とする。

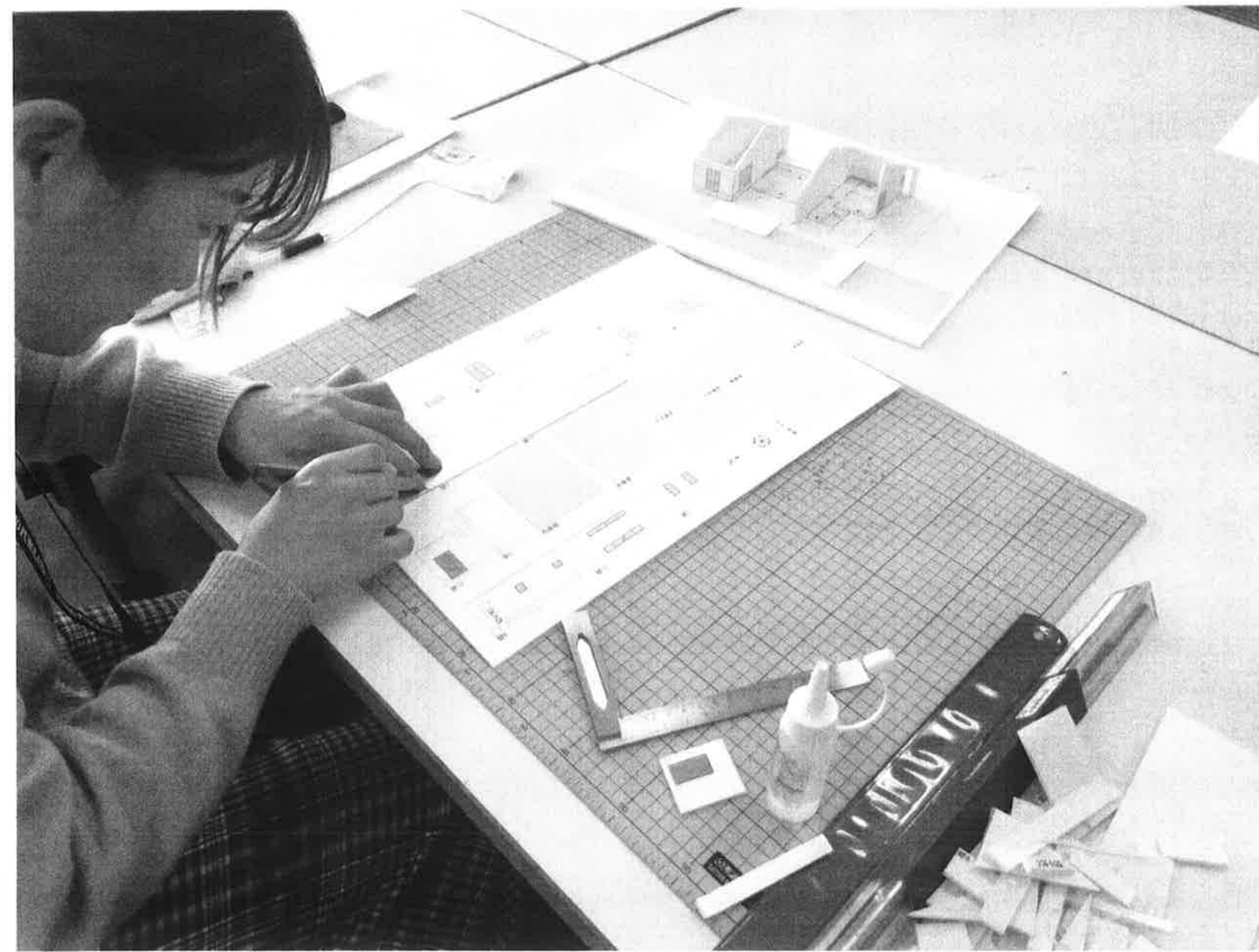
CADソフトによる図面の作成  
簡単な模型製作













# HACHIOJI BIM LAB

主  
催



学校法人片柳学園



日本工学院八王子専門学校

No. 1

## BIM で繋がる地域と学生 ～ヒロシマ BIM ゼミの取り組み～

### 1 杉田 宗氏

広島工業大学 環境学部  
建築デザイン学科 准教授



1979年広島県生まれ。2005年 Rogers Marvel Architects, New York 勤務、2006年 MAD, 北京勤務、2010年ペンシルベニア大学大学院建築学科修了、2012-2014年東京大学 Global30 国際都市建築デザインコースコースアシスタントを経て、現職。  
BIM やデジタルファブリケーションを活用した授業の教鞭を大学にて持つ。同時に BIM の活用や普及、横断的なコラボレーションの誘発などを目標に「ヒロシマ BIM ゼミ」を立ち上げ、「広島を BIM の街に！」と様々な活動を展開している。

## 木造 BIM で変わる！ ～地域建設企業のかたち～

### 2 原口 広氏

有限会社 原忠  
代表取締役



福岡県で木造住宅を中心に設計施工を手掛ける。設計から現場竣工まで BIM(Vectorworks) を使用したワンストップでの業務を行う。  
最近では少しでも多くのユーザーに BIM の楽しさを知ってほしいとの思いから、情報交換できる場を博多のレンタルスペースにて開催。  
ブログ: Vectorworks.BIM(<https://vectorworks-bim.com/>) は月間トータルアクセス数約 10000。

2019年度 文部科学省委託事業 専修学校による地域産業中核的人材養成事業

# HACHIOJI

# B I M

# Lab 17:00 ▶ 20:00

@fabbit 八王子

# 2020.2.14 金

No.1

## BIMで繋がる地域と学生

～ヒロシマ BIM セミの取り組み～

杉田 宗氏

広島工科大学 建築学科  
建築デザイン学科 准教授



1979年広島県生まれ。2005年 Doque's Marvel Architects New York 勤務。2006年 MAD、北京勤務。2010年ペンシルベニア大学大学院建築学修士取得。2012-2014年東京大学 Global30 国際都市建築デザインコースコースアシスタントを経て、現職 BIM やデジタルファブリケーションを活用した授業の教職を大学にて持つ。同時に BIM の活用や普及、横断的なコラボレーションの誘発などを目標に「ヒロシマ BIM セミ」を立ち上げ、「広島を BIM の街に」と様々な活動を展開している。

## 木造 BIM で変わる!

～地域建設企業のかたち～

原口 広氏

青森県立 東北  
建築事務所



福地県で木造住宅を中心に設計施工を手出ける。設計から現場施工まで BIM(Vectorworks)を使用したワンストップでの業務を行う。最近では少しでも多くのユーザーに BIM の楽しさを知ってほしいとの思いから、情報交換できる場を多くのレンタルスペースにて開催。Facebook: vectorworks BIM (https://vectorworks-bim.com/) は月間トータルアクセス数約 10000。



### 応募フォーム

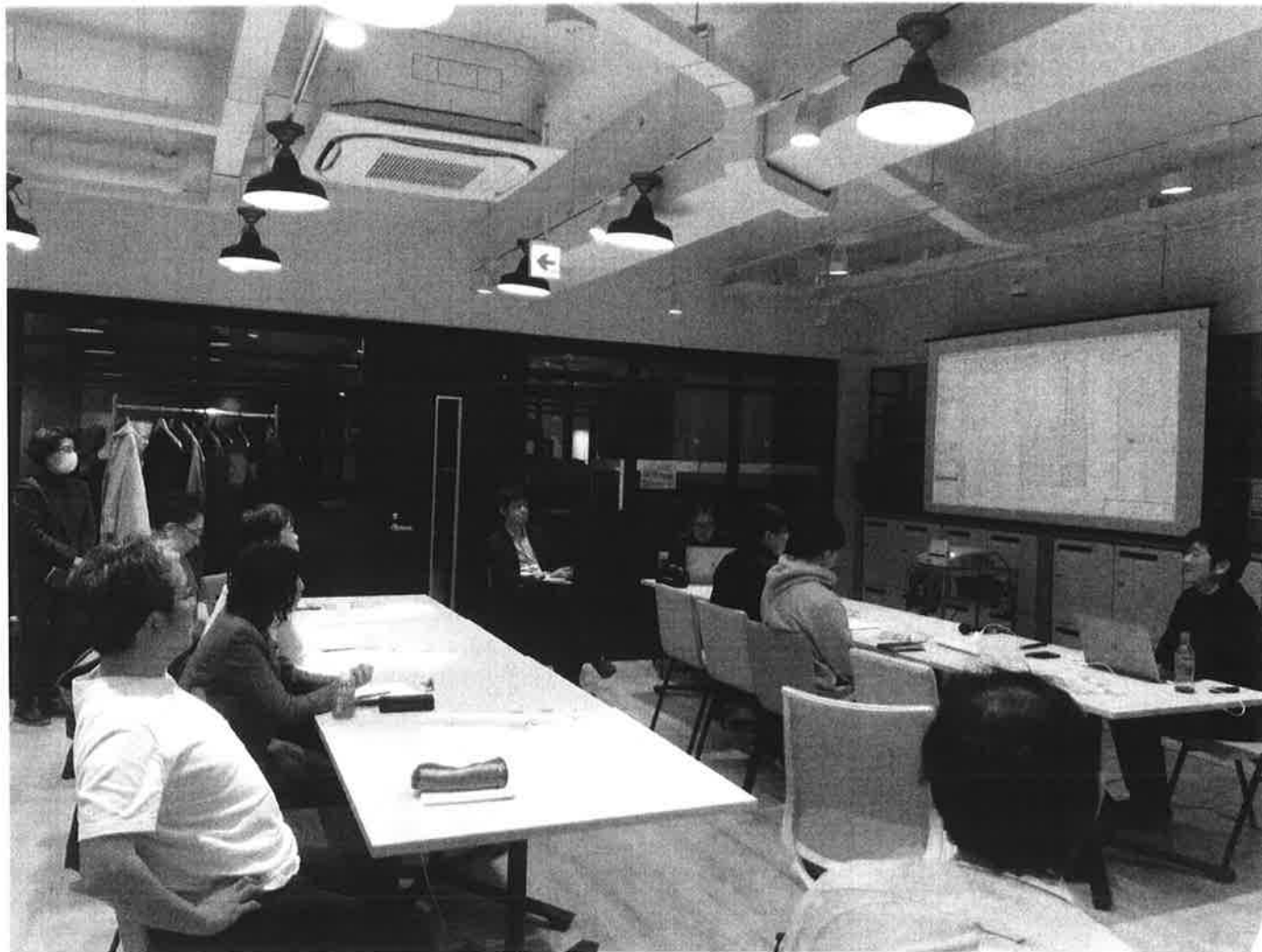
このコーナーは以下 URL にてお申し込みをしてください。

<https://questant.jp/q/6W1HTR6K>



### お問い合わせ

日本工学院八王子専門学校 文部科学省委託事業 事務局 小林  
Mail: kobayashit.sstf@neec.ac.jp TEL: 042-637-3179



多摩地域建設人材育成協議会 規約

(名称)

第1条 本会は、多摩地域建設人材育成協議会（以下「協議会」という。

(目的)

第2条 協議会は、多摩地域の建設産業を担う人材の確保・育成に関する方策を検討し、将来にわたって地域を支え得る建設産業を構築するため、人材の確保・育成にかかわる関係者間の相互協力・連携の促進を図ることを目的とし、多摩地域の建設業のさらなる発展に寄与する。

(事業)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の事項についての検討を行う。

- (1) 建設産業の担い手の確保・育成に係ること
- (2) 建設産業に関する技術・技能等の修得に係ること
- (3) 建設産業の交流と発展に寄与する活動に係ること
- (4) その他必要な事項

(組織)

第4条 協議会の会員は、企業、団体、教育機関、個人をもって組織する。

(会長)

第5条 会長は協議会において、会員により選出される。

(会合)

第6条 協議会の会合は、年2回程度開催する。

(事務局)

第7条 協議会には事務局を置く。

(会費)

第8条 会費は無料とする。

(入退会)

第9条 入退会を希望する者は事務局へ書面にて申し出る。

2020年1月30日

2020年度 多摩地域建設人材育成協議会 運営体制(案)

2020年度の協議会は以下の組織で実施する。

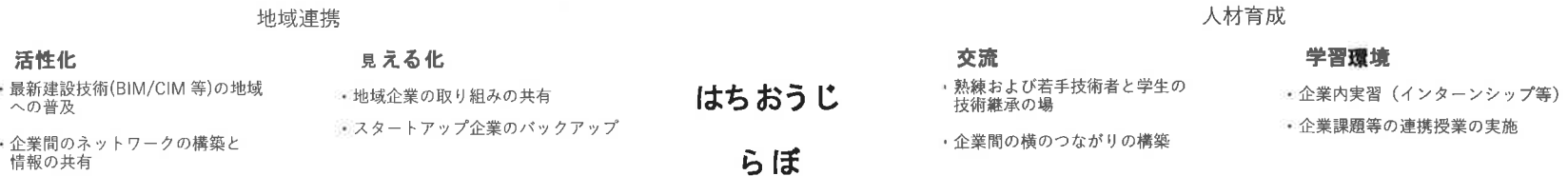
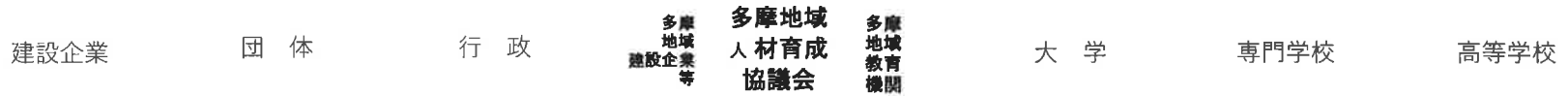
会 長	清水 憲一	日本工学院八王子専門学校	テクノロジーカレッジ カレッジ長
-----	-------	--------------	---------------------

事務局	小林 猛	日本工学院八王子専門学校	テクノロジーカレッジ
-----	------	--------------	------------

会 員	橋本 英章	八王子市役所	八王子市建設部 建設課長
	外池 正明	八王子商工会議所	建設部会
		三多摩建設業連合会	会長
		三多摩建設業連合会	事務局
	朝倉 泰成	一般社団法人南多摩建設業協会	
	岩浪 岳史	西多摩建設業協同組合	
		一般社団法人北多摩建設業協会	
	鈴木 浩之	株式会社田中建設	取締役
	遠藤 政章	黒須建設株式会社	取締役
	田村 雅紀	工学院大学	建築学部 建築学科
飯田 有登	町田・デザイン専門学校	校長のつくり系 副校長	

相談役	黒須 隆一	前八王子市長	
	鈴木 博之	明星大学	理工学部 総合理工学部

■ 2019 年度 多摩地域における建設産業中核的人材養成のための産学連携体制構築事業 「多摩地域建設人材育成協議会」の活動内容

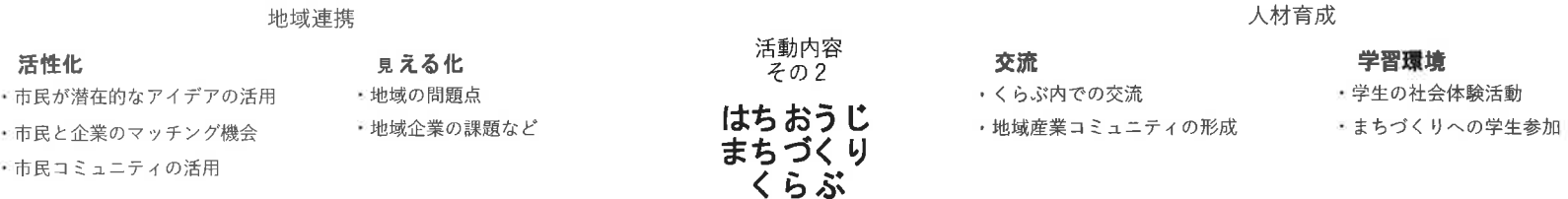


■ 地域企業の技術力向上・地域連携の人材育成

- **地学地就の強化**
  - ・多摩地域企業との連携強化
  - ・合同企業説明会等のマッチング機会創出
- **インターンシップ コーオプ教育の連携**
  - ・産学協同による人材育成
  - ・職業観の育成
  - ・地域人材確保・定着
- **ひとづくり**
  - ・人材不足の解消
  - ・職業観の育成
  - ・地域人材確保・定着
  - ・地域への愛着を育む
  - ・労働環境の改善

■ 地域を理解し、地域を守る人材の裾野を広げる

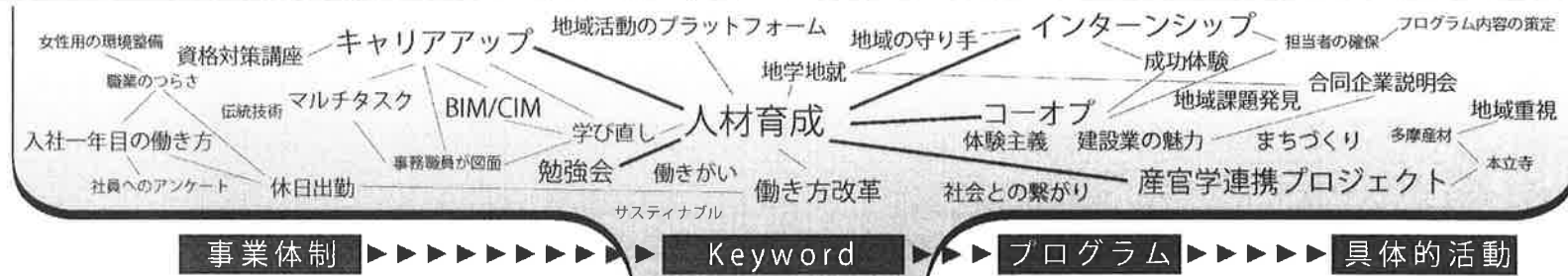
- **社会人・女性の学び直し**
  - ・現在働いている人材の総合能力の向上
  - ・他分野の社会人、女性の参入
  - ・主婦層の社会進出のサポート
  - ・建設スキル向上の講座開設
- **守り手の育成**
  - ・災害時に地域復興のキーマンとなる人材の育成
  - ・危機管理能力に優れた人材教育
  - ・入職者が魅力を持つ環境整備
  - ・将来の建設業を支える若手技術者の養成



産・公・官・学の連携

継続的な運営

地域における教育（学校）と建設業（地域産業全体）



事業体制	Keyword	プログラム	具体的活動
主事業 <b>多摩地域建設人材育成協議会</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の守り手の育成</li> <li>・地域建設業と教育機関の連携</li> <li>・地域ニーズに沿った人材育成</li> <li>・地域の問題発見・課題解決</li> <li>・建設業の人材不足の解消</li> <li>・建設業の魅力創出づくり</li> <li>・産官学間での情報交換</li> </ul>	1. 委員会(年2回以上)	1-1. 人材育成 1-2. 産学連携授業 など
サブ事業 八王子 BIM ラボ (地域勉強会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設系の最新情報の入手</li> <li>・世の中のトレンドの把握</li> <li>・まちづくりへの学生参加</li> <li>・学生の社会活動の場の提供</li> <li>・地域企業の相互交流</li> </ul>	2. 八王子 BIM ラボ	2-1. BIM等の普及・講演会 2-2. まちづくりくらぶ など
サブ事業 インターンシップ・コーオプ教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地学地就のしくみづくり</li> <li>・地域企業と学生のマッチング</li> <li>・地域人材の確保、定着</li> </ul>	3. インターンシップ・コーオプ教育	4-1. インターンシップ・コーオプ教育の実施 4-2. 実績報告会の開催 など

多摩地域人材育成協議会 2020(初年度)の主な活動

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
多摩地域建設人材育成協議会						■					■	
八王子 BIM ラボ (地域勉強会)			▲		▲	▲	▲			▲		
インターンシップ・コーオプ教育					●	●						